

【事業実績】

1. 博物館等における多文化共生の取り組み実態調査

(1) 国内の博物館における在住外国人を対象とした取り組みアンケート調査

全国の科学館・自然史系博物館及び東京都内の文化施設（博物館・資料館・美術館・動物園・水族館等）における多文化共生に関する取り組みの現状を把握することを目的とし、全国科学博物館協議会の加盟館、全国科学館連携協議会の加盟館および東京都内の文化施設あわせて 540 館を対象に多文化共生の取り組みに関するアンケート調査を実施した。本調査の回収結果は、回収数 310 件でそのうち有効回答数は 308 件、有効回答率は 57%であった。

科学系博物館を中心とした多文化共生に関する現状として、約 9 割とほとんどの施設で外国人が来館していることが分かった。また各施設において外国語を用いた情報提供についても、約 7 割が実施しているが、外国語対応のスタッフの配置については、7 割強の施設で配置していない。これらから、外国人が来館した際に、スタッフと直接コミュニケーションを取る機会がまだ少ない状況にあることがわかる。外国人を対象とした多文化共生プログラムを実施している施設は 1 割程度であった。実施しない理由として、人材および予算不足の合計が 7 割あったことから、実施したくてもできない背景があると推測できる。

なお、今回は全データの考察を行うことができなかったため、引き続き館種による傾向や地域差等の傾向について分析を行う他、必要に応じて追加調査も行いたいと考えている。

(2) 国内の博物館その他の多文化共生の先進事例ヒアリング調査

当館で多文化共生の取り組みを実施するにあたり、国内の施設で先進的な取り組みを行っている施設に対しヒアリング調査を実施した。調査先は以下の 4 施設である。

①北九州市立自然史・歴史博物館（調査日：2020 年 2 月 6 日）

平成 26 年度・27 年度文化庁文化芸術振興費補助金「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」としてユニバーサルミュージアム化事業の一環としてやさしい日本語を用いた解説パネルの導入等、多文化共生の取り組みを行っている。博物館としてやさしい日本語を用いた先進事例として取り組みについてヒアリングを行った。



北九州市立自然史・歴史博物館 外観



やさしい日本語解説パネル

②豊橋市中央図書館（調査日：2019 年 7 月 17 日）

平成 30 年度に文部科学省の「図書館資源を活用した困難地域等における読書・学習機会提供事業」の一環である「絵本や ICT を活用した外国人親子への支援プログラム」の活動についてヒアリングを行った。

また、実際に豊橋市内の小学校で実施している放課後子ども教室のプログラムの見学を行った。放課後子ども教室では小学 1 年生から 6 年生まで、15 名弱の児童が参加していた。国籍は多様で、日本語でコミュニケーションをとりながらも時々母語で話す児童もおり、絵本づくりを



楽しんでいる様子が印象的だった。

③一般社団法人 Kuriya（調査日：2019年10月31日）

本団体では、「国や文化を超えて暮らす若者たちが、それぞれの違いを活かしながら活躍できる社会づくりのために、若者たちに次世代を担う人材として活躍する機会を提供し育成すること」を目的とし設立された。たくさんの可能性を持つ外国人ルーツの若者が活躍する社会づくりを目指し、クリエイティブと出会う場、スキルを磨く場、社会とつながる場の3つの場を通じた人材育成プログラムとして、定時制高校の居場所づくり、実践型インターンシップ、政策提言の3つの事業を展開している。3つの事業についてヒアリングを行うとともに、当館事業についてのアドバイスと頂いた。

④アーツ前橋（2019年12月3日～4日）

多文化共生の取り組みとして実施している滞在制作事業（アーティスト・イン・レジデンス）、館内企画展「表現の生態系展」の見学とヒアリング及び、館外事業である「社会福祉法人フランシスコの町あかつきの村」を散策する体験型作品を体験した。アーツ前橋における多文化共生を推進する体制は、前橋市、前橋市内の福祉、教育の医療施設や団体だけでなく、商店街や国内外のアーティスト等の協力により実現している。



アーツ前橋 外観



社会福祉法人フランシスコの町あかつきの村 入口

2. 科学館の多文化共生および多言語化のサービス向上

(1) 多摩六都科学館 WEB へのやさしい日本語ページの実装

当館公式 WEB サイトでは、日本語以外の情報として、英語と中国語による開館日時、入場料、アクセス等に関する情報提供を行っていたが、これらに加えてやさしい日本語による情報提供ページ (https://www.tamarokuto.or.jp/easy_japanese/) を2020年2月18日より公開している。やさしい日本語のページへのリンクは、アクセスしやすいように、どのページを閲覧していても上部に常に表示される場所に配置した。また、掲載情報の表現にあたっては、日本に暮らす外国人向けの情報提供の実績を有する株式会社ひらがなねっと（本社：東京都墨田区）の協力を得た。



公式 WEB に実装したやさしい日本語のページ

(2) やさしい日本語スタッフ研修

2019年10月10日に、株式会社ひらがなねっとの有田玲子氏を講師に迎え、やさしい日本語の基本を学び、それらを日々の業務に還元することを目的に行った。

基礎編として、やさしい日本語の概要と在住外国人の現状について講義を受講し、やさしい日本語の基礎についてグループワークを通じて学んだ。その後、実践編として、日常業務の各所で使用している解説用語等で、置き換えが必要と思われるものをグループ内で議論した後、やさしい言葉の置き換えるワークを行い、最後に実際の場面を想定した成果物の共有を全員で行った。その成果としては、SNS(Facebook, twitter)による情報発信や一部の展示でのやさしい日本語解説パネルの併設などがある。



講義を聴講する



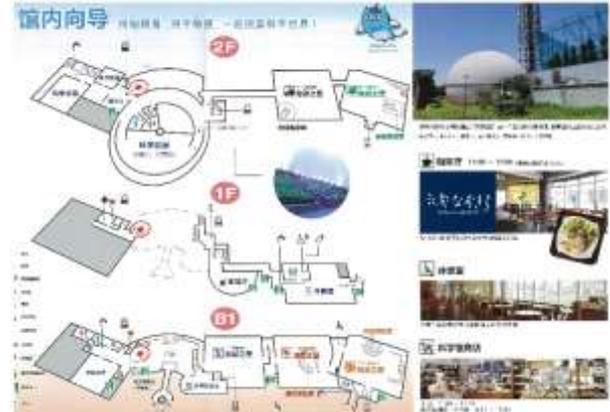
成果物の作成

(3) 中国語・ハングル語のパンフレット制作

当館のホームページではすでに対応していた中国語とハングル語についてパンフレットの作成を行った。



中国語パンフレット



ハングル語パンフレット

3. 地域在住外国人向けの特別プログラムの開発・実践・評価

昨年度に続き iPad を用いた「科学館の絵本をつくろう」に加え、新たに天文スタッフによる「やさしい日本語でプラネタリウムを楽しもう」を実施した。これらの2つのプログラムを実施するにあたり、前年度の課題であった広報の在り方について専門家を交えて検討するとともに、内容については引き続き科学館に初めて来館する層を対象として有識者の意見を取り入れたプログラムの開発を行った。

<広報>

それぞれのプログラムの募集チラシをやさしい日本語で作成し、館内配布の他、西東京市、小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市の市役所および国際交流団体、日本語教室等へ配布を依頼した。



やさしい日本語によるチラシ

<科学館の絵本をつくろう>

実施日：2020年1月12日（日）1回目 10:00～12:30、2回目 13:30～16:00

講師：株式会社グッド・グリーン 朝倉民枝氏

参加者：1回目：希望者無、

2回目：10名（海外にルーツを持つ子ども4名、日本人1名、親5名）

会場：レクチャールーム、常設展示室

内容：参加者の自己紹介の後、各自の興味にあわせて見学する展示室を選択した。見学後、iPadの操作を学び、科学館の展示体験を元に絵本のデジタルデータ、出力したミニ絵本を作成した。あわせて朗読による音声録音を行い、最後に全員で発表会を行った。参加者は図柄だけでなく、音声録音までこだわって作品を作り上げていた。



iPad で絵本を作成する参加者



デジタルデータを用いた発表会

<やさしい日本語でプラネタリウムを楽しもう>

実施日：2020年1月18日（土）16:00-17:30

講師：多摩六都科学館 天文グループ 成瀬 裕子

参加者：5名（外国にルーツを持つ子ども2名、親3名）

会場：レクチャールーム、サイエンスエッグ

内容：第1部は天文に関する言葉のワークショップ、第2部はプラネタリウムドームで星空解説を楽しむ2部構成で実施した。

第1部では、天文に関する言葉やプラネタリウム鑑賞の上で重要となる言葉（星の名前、方角等）について対話型鑑賞手法などを取り入れたプログラムを行うことで、その後の星空解説の理解度を高める工夫を行った。星空解説をやさしい日本語で行うことで子どもだけでなく親も星空を楽しんでいた。



プラネタリウムドーム内で、スタッフより機械の説明を受ける参加者

<参加者の感想>

子ども用と大人用のアンケート用紙を用意し、実施後に配付しプログラムの感想を記入してもらった。

ワークショップ 子ども 参加者 アンケート

の

1. きょうの ワークショップ は どうでしたか？



2. 科学館 の プラネタリウム は どうでしたか？



3. 先生 の 教え方 は どうでしたか？



4. いいこと、これから やりたいこと などが あれば
自由に かいて ください (好きな 言葉 で 書いてください)

あなたがどう感じました

子ども用アンケート用紙

大人用アンケート用紙

【子どもの感想】

1 プログラムの感想について、すべての参加者が、6段階の一番左の笑顔マークを選択した。2、3の質問対しても、6段階の一番左及び左から2番目を選択した。このことより、プログラムに非常に満足であったといえる。

4の感想、これからやりたいことについては以下の回答があった。

- ・先生たちのおしえかたやてつだいがすごくわかりやすかったです。(小学4年生)
- ・ありがとうございました。(小学年生)
- ・先生！今回はありがとうございました(小学2年生)
- ・なつにあそびにいきたい。たのしかった。2月にもくる！(小学2年生)
- ・えいが(プラネタリウムのこと)たのしかったです(小学1年生)

【大人の感想】

プログラムの感想として以下の回答があった。

- ・科学館の中も一緒にまわってもらったり絵本を作ることができて楽しかったです。(30代)
- ・とても楽しく絵本を作ることができました。娘もまた作りたいようです。(40代)
- ・子供たちが楽しめたようでよかったです。(30代)
- ・説明がわかりやすい。(40代)
- ・また春に來ます。とても解りやすかったです。(40代)
- ・なかなか來る機会がないですが、思い切つて來てよかったです。大人もとても興味深くみせていただきました。(40代)

<課題と展望>

昨年と比較しても参加者数の増加がみられなかったことから、広報手法、表現、情報提供先等については、在住外国人のための活動を実践している団体等に対し、引き続きヒアリング調査を実施することで解決策を

1. あなたのことを 教えて ください (譲渡される ことを 書いてください)

性別: 年代:

現在のペース: 自治: 日本に暮らしている年数: 年

2. 住んでいる 市町村名を 教えてください

3. これまでに 多文化共生科学館に 来たことが ありますか？

はい いいえ 不明

4. いつか 多文化共生 科学館を どうやって 見ていますか？ (web SNS等 直接訪問含む)

5. このような イベントは 必要ですか？

はい いらない わからない

6. 説明(やさしい日本語)は わかりましたか？

わかりました ほとんどわかりました ほとんど わかりませんでした わかりませんでした

7. 感想

8. これから 科学館で やってほしい イベントが あれば 教えて ください。

探る。

あわせて、圏域の団体との連携をより密に行うことで、ニーズにあった実施時期、プログラム内容の検討を行っていきたいと考えている。

4. ICOM 京都 2019、都市博物館国際委員会（CAMOC）との共催事業の実施

当館では、国際博物館会議（ICOM）京都大会実行委員会および都市博物館のコレクション・活動国際委員会（CAMOC）の依頼を受け、京都大会終了後に行うポストカンファレンスツアーの西エリアのエクスカージョンプログラムの企画、運営を行った。

本ツアーは、東京の東と西に分かれて実施したが、交流会は合同で行ったことから、東京都美術館、江戸東京博物館、上野文化の杜新構想実行委員会、アーツカウンシル東京と共催で実施している。

東京西ツアーは、江戸と多摩エリアをつなぐ「玉川上水」に着目し、その歴史、地形、今日の技術、市民の都市生活とのつながりを体感すること、東京という都市の持つ多様性を短い時間で体験できるように計画を行った。

早朝に京都を出発した参加者 21 名は、東京駅からバスに乗り、多摩六都科学館、小平市ふれあい下水道館、玉川上水、六本木ヒルズ・森美術館を巡り、最後に東京都美術館で東ツアーと合流した。

多摩六都科学館では東京全域の地形や江戸の発展を支えた自然素材と道路の開削等について展示やその他常設展示、プラネタリウムドームをスタッフとともに視察し、その後科学館の運営に関するランチミーティングを行った。その後、史跡としての玉川上水の散策、小平市ふれあい下水道館において、現在利用されているインフラとしての下水道管の中に入る体験、新たな都市とミュージアムとしての六本木展望台および森美術館の見学、最後に東京都美術館で交流会を行った。

<多摩六都科学館>

スタッフとの交流を目的としていたため、参加者から様々なコメントをもらうことができた。以下にいくつか記す。

- ・スタッフと話せる機会が多く、とても有意義だった。
- ・Hospitality に本当に感謝している。
- ・自分は展示デザイナーだが、今日訪れたような館に作品を展示できたらうれしい。
- ・英語での表示・解説を増やし外国人でも楽しめ理解できる施設にしてほしい。とてもいい施設だからもったいない！
- ・ロクトはさわれる展示、体験できる展示が多くて、とてもよい。

<多摩六都科学館>



ランチ交流会

<六本木ヒルズ展望台・森美術館>



森美術館内の様子

<小平市ふれあい下水道館・玉川上水>



館長による微生物の解説

<東京都美術館>



夕食を取りながらの交流会